



TURBOSYSTEMS

4K UHD XJive Player (OTH090 / OTH091) 操作説明書

ターボシステムズ株式会社

目次

1. はじめに.....	3
1.1. 付属品.....	3
2. 装置仕様.....	4
2.1. 装置概要.....	4
2.2. 装置前面/背面（OTH090）.....	5
2.3. 装置前面/背面（OTH091）.....	7
3. 初期設定.....	8
3.1. 装置設置.....	8
3.2. 装置起動.....	9
4. XJive Player の操作.....	10
4.1. 実行ファイルの用意.....	10
4.2. ファイルのコピーと削除.....	10
4.2.1. Windows からコピーする.....	10
4.2.2. 外付け USB メモリ/SSD からコピーする.....	12
4.2.3. ファイル削除.....	14
4.3. ファイル再生.....	15
4.4. プレイリスト再生.....	18
5. 「Settings」の設定.....	20
5.1. ネットワークの設定.....	21
5.2. Windows ネットワークの設定.....	22
6. リモートコントロール機能.....	23
7. HDR 設定（OTH091）.....	26
7.1. HDR 設定概要.....	26
7.2. HDR 設定画面.....	26
8. 設定ファイル（xjive.cfg）.....	29

変更履歴

日付	内容
2021/03/23	初版
2021/04/21	4K UHD XJive Player 10 (OTH091) モデルを追記
2024/08/30	4K UHD XJive Player 10 (OTH090) モデルのハードウェア変更を追記

1. はじめに

本書は、「4K UHD XJive Player (OTH090/OTH091)」の操作方法について説明しています。

1.1. 付属品

次の付属品がそろっている事を確認してください。

- 装置本体
- DisplayPort → HDMI 変換アダプタ ※ OTH090 のみ
- AC アダプタ/電源コード（1本）
- テンキー（1個）
- 操作説明書（本紙）

2. 装置仕様

2.1. 装置概要

本装置の仕様は以下の通りです。

	4K UHD XJive Player	
モデル	8	10
型番	OTH090	OTH091
映像コーデック*1	AVC (4:2:0 8bit) 4K/60P 200Mbps HEVC Main (4:2:0 8bit) 4K/60P 50Mbps HEVC Main 10 (4:2:0 10bit) 4K/60P 50Mbps	
音声コーデック	AAC-LC 16bit 48kHz 1ch/2ch/5.1ch	
コンテナ	MPEG-2 TS (拡張子.ts) MP4 (拡張子.mp4)	
解像度/フレームレート	3840x2160 (60/59.94/50/30/29.97/25/23.98 fps) ※HD 解像度は 3840 x 2160 にストレッチ出力可能	
映像出力	HDMI 4K/60P (YUV 4:2:0 8bit) *2	HDMI 4K/60P (YUV 4:2:0 8/10bit)
音声出力	HDMI 重畳	
LAN	RJ45 Gigabit Ethernet LAN x1	
ストリーミング*3	RTP, MPEG-Dash, MMT(オプション)	
XThink オプション	○*4 (発売予定)	×
MMT 受信オプション	○	○
筐体サイズ(mm / 幅 x 高 x 奥行)	165×43×190	200×78.5×250
付属品	本体, AC アダプタ, 電源ケーブル, DP→HDMI 変換アダプタ (OTH090 のみ) , 操作ガイド, ライセンス証書、テンキー	
操作デバイス	テンキー	
電源容量	90W AC アダプター	180W AC アダプター
内蔵 SSD 容量	約 240GB	

*1 全てのコンテンツの再生を保証するものではありません。対応最大ビットレート未満のコンテンツでも正常に再生できない可能性があります。

*2 製品付属の DisplayPort → HDMI 変換アダプタを接続する必要があります。

*3 ご使用の送出機との動作を保証するものではありません。事前評価をお勧めします。

RTP ヘッダ 12byte + mpegts 188byte x 7 の合計 1328 バイトを 1 パケット単位とし受信します。192byte 単位の tts 形式にも対応

*4 XThink 同期再生は同じ型番の XJive でのみ使用可能です。異なる型番が混在する環境では正常に動作しません。

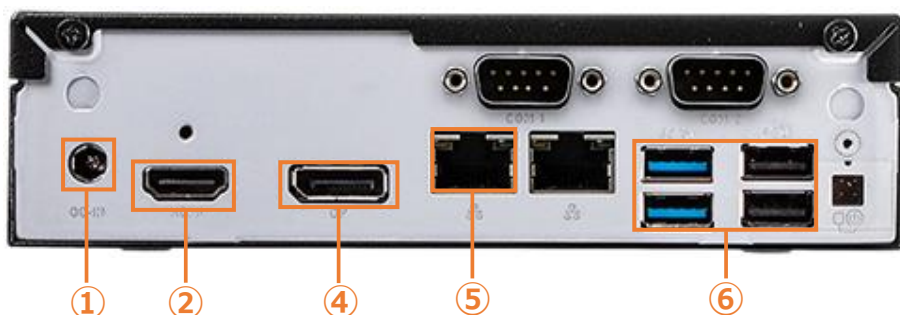
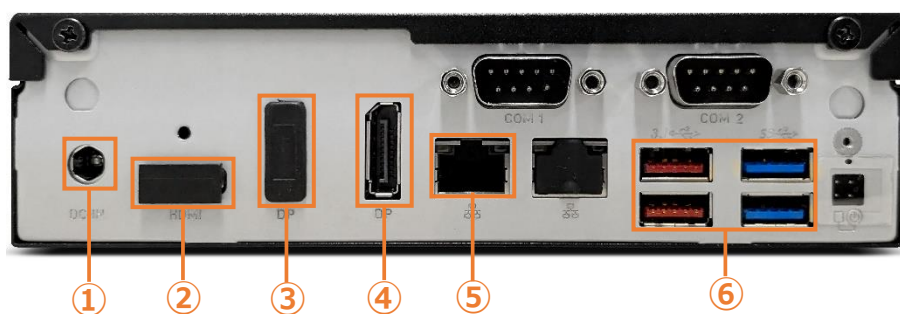
2.2. 装置前面/背面（OTH090）

使用するスイッチやポートは以下の図のとおりです。その他の端子は利用しません。

※ 出荷時期によりハードウェアが異なります。



	名称	説明
①	電源スイッチ	装置本体の電源を ON/OFF します。
②	USB ポート	製品付属のテンキーや外付け USB メモリ/SSD を接続します。



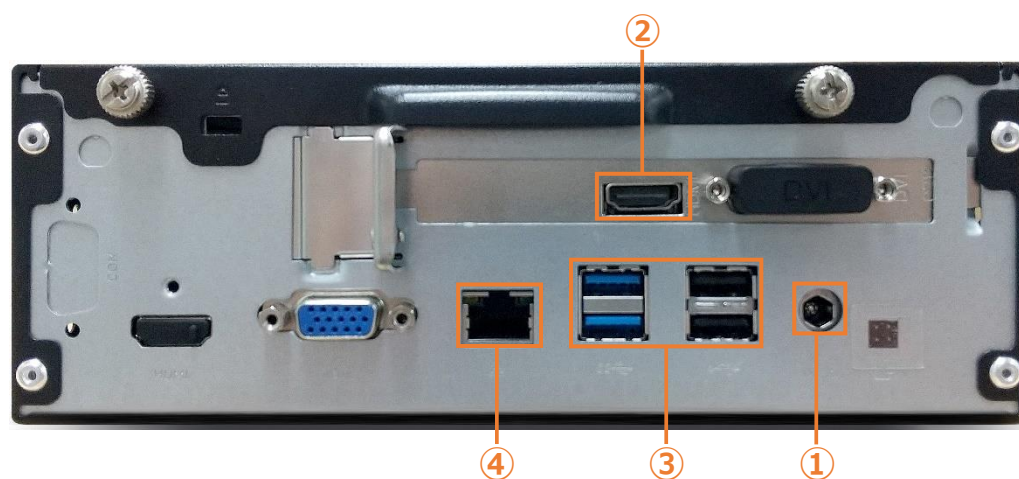
	名称	説明
①	電源ポート	電源コードを接続します。
②	HDMI ポート	この HDMI ポートは使用しません。④ の DisplayPort を使用してください。
③	DisplayPort	この DisplayPort は使用しません。④ の DisplayPort を使用してください。
④	DisplayPort	製品付属の DisplayPort→HDMI 変換アダプタを接続し、HDMI モニタへ接続します。 
⑤	LAN ポート	イーサネットケーブルを接続します。 ※ 必ず左側のポートへ LAN ケーブルを接続してください。
⑥	USB ポート	製品付属のテンキーや外付け USB メモリ/SSD を接続します。

2.3. 装置前面/背面（OTH091）

使用するスイッチやポートは以下の図のとおりです。その他の端子は利用しません。



	名称	説明
①	電源スイッチ	装置本体の電源を ON/OFF します。
②	USB ポート	製品付属のテンキーや外付け USB メモリ/SSD を接続します。



	名称	説明
①	電源ポート	電源コードを接続します。
②	HDMI ポート	HDMI モニタへ接続します。 ※左下の HDMI ポートは使用しません。
③	USB ポート	製品付属のテンキーや外付け USB メモリ/SSD を接続します。
④	LAN ポート	イーサネットケーブルを接続します。



動画素材を保存した外付け USB メモリや SSD は、青色の USB3.0 ポートへ接続してください。また、同時に複数の USB ポートへ外付け USB メモリや SSD を接続しないでください。

3. 初期設定

この章では、本装置の初期設定について解説しています。

3.1. 装置設置



以下の手順に従い、本装置を設置します。

1. 電源ケーブルを接続し、コンセントへ挿します。
2. 本装置に DP→HDMI 変換アダプタを接続（OTH090 の場合）し、HDMI モニタと接続します。
3. 付属の USB テンキー、あるいはお持ちの USB キーボードを本装置の USB ポートに接続します。

装置設置後は、ネットワーク設定、実行ファイルのコピー等を行います。

3.2. 装置起動

装置前面の電源ボタンを押して本装置を起動します。

しばらくすると、メイン画面が表示されます。



画面項目は以下の通りです。

項目	説明
Internal Disk	内蔵 SSD に保存されているファイルが一覧表示されます。ファイルをコピーする方法については「0 ファイルのコピーと削除」を参照してください。
External Disk	外付けの USB デバイスに保存されているファイルが一覧表示されます。
Network Settings	IP アドレスの設定、Windows ネットワーク（Samba）の設定を行います。「5. 「Settings」の設定」を参照してください。
Ver	バージョンを表示します。
IPv4	設定されている IPv4 アドレスを表示します。
IPv6	設定されている IPv6 アドレスを表示します。

4. XJive Player の操作

この章では本装置の操作方法について解説しています。

4.1. 実行ファイルの用意

本装置は、以下の拡張子のファイルを実行可能です。

拡張子	概要
.ts	MPEG2-TS 動画ファイル
.mp4	MP4 動画ファイル



再生可能なファイルは、本装置がサポートしている映像/音声コーデックである必要があります。

4.2. ファイルのコピーと削除

本装置の内蔵 SSD「Internal Disk」へファイルをコピーするには 2 つの方法があります。

1 つは、外付け USB メモリや SSD から「Internal Disk」へコピーする方法です。もう 1 つは、Windows からネットワーク経由で「Internal Disk」へアクセスし、コピーする方法です。

4.2.1. Windows からコピーする

「5. 「Settings」の設定」を参照し、「ネットワーク」と「Windows 共有」の設定を完了してください。Windows 共有を有効にすると、同じ LAN の Windows PC から本装置の「Internal Disk」へアクセスできるようになります。

Windows エクスプローラを起動し、エクスプローラの場所ツールバーへ XJive の IP アドレスと共有フォルダ名（初期値: xjive）を指定します。以下は IP アドレスが 192.168.0.10 の例です。

¥¥192.168.0.10¥xjive

アイコンをダブルクリックして共有フォルダへアクセスします。



ユーザ名とパスワードを要求されますので、「USER NAME」（初期値: **XJIVE**）と「PASSWORD」（初期値: **XJIVE**）を入力し、「OK」を押します。

認証に成功すると、本装置の「Internal Disk」へアクセスできるようになります。

Windows PC 上に保存されているファイルをコピーしてください。

4.2.2. 外付け USB メモリ/SSD からコピーする

外付け USB メモリやストレージ（SSD）は以下の条件を満たすものを用意してください。

- USB3.0 対応（動画素材.mp4、.ts を外部 USB から直接再生する場合は性能面から必須）
- 単一パーティションテーブルのもの（通常は購入時にはこの状態です）
- ファイルシステム：exFAT もしくは Ext4 でフォーマットしたもの



その他のファイルシステムでも認識は可能ですが性能検証は上記のみです。

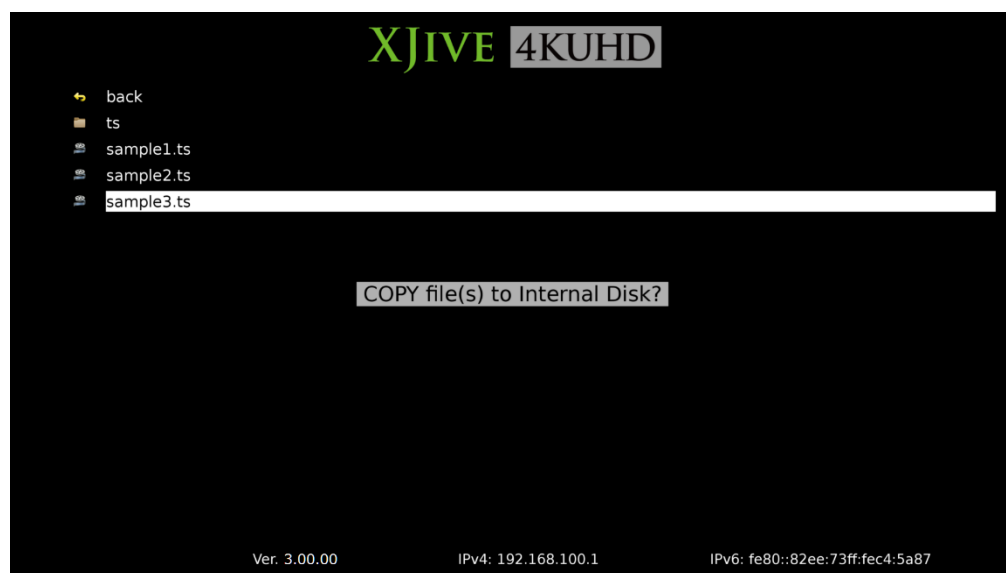


USB メモリは通常、単一パーティションテーブル構成になっています。そのままの状態
でフォーマットを実行してください。フォーマット手順は、ご利用の OS のヘルプ等を参
照してください。また、希に単一パーティションではない USB メモリが存在します。そ
のような USB メモリは正常に認識できない場合があります。

「External Disk」にあるフォルダやファイルを「Internal Disk」へコピーするには以下のように操
作します。

「External Disk」の一覧からコピーしたいフォルダまたはファイルを選択し、テンキーの「+」を
押します。

確認メッセージが表示されます。キャンセルするには「BackSpace」キーを押します。



「Enter」キーを押すとコピーが始まります。



4.2.3. ファイル削除

Windows から「Internal Disk」へアクセスし、ファイルを削除、あるいは操作画面からファイルを削除することができます。

操作画面から「Internal Disk」へ保存されているファイルやディレクトリを削除するには、一覧から削除したいフォルダまたはファイルを選択し、「-」キーを押します。

確認メッセージが表示されます。キャンセルするには「BackSpace」キーを押します。



「Enter」キーを押すと削除されます。



「External Disk」にあるフォルダやファイルを削除することはできません。

4.3. ファイル再生

本装置の電源を投入します。メイン画面が表示されます。



操作は付属のテンキーを使用します。



キー	説明
[↑] [↓]	移動
[Enter]	選択

「↑」「↓」キーで「Internal Disk」または「External Disk」を選択し、「Enter」キーを押します。ファイルの一覧が表示されます。



「↑」「↓」キーで実行したいファイルへカーソルを合わせ、「Enter」キーを押します。フルスクリーンで再生が始まります。

「Backspace」キーを押すとコンテンツ一覧画面へ戻ります。

コンテンツ再生中はテンキーで以下の操作が可能です。

キー	説明
「Enter」	一時停止 / 再生
「7」	前のファイルを再生（プレイリスト再生時）
「9」	次のファイルを再生（プレイリスト再生時）
「4」	早戻し（約 10 秒）
「6」	早送り（約 10 秒）
「1」	早戻し（約 30 秒）
「3」	早送り（約 30 秒）
「0」	早戻し（約 300 秒）
「.」	早送り（約 300 秒）
「5」	スロー再生（1/10 倍速）
「8」	スピード調整。キーを押すたびに再生スピードが速くなります。（7 段階） 「5」キーを押すと通常再生へ戻ります。
「2」	スピード調整。キーを押すたびに再生スピードが遅くなります。（7 段階） 「5」キーを押すと通常再生へ戻ります。
「+」	タイムコード表示 ※ もう一度「+」キーを押すことで表示位置を上下へ変更可能です。
「-」	タイムコード/ファイル情報非表示

「*」	ファイル情報表示
「Backspace」	コンテンツ一覧画面へ戻ります。

4.4. プレイリスト再生

プレイリストを設定すると、選択した順番でコンテンツを自動的に再生させることができます。

プレイリストの設定は、「Internal Disk」の「PLAYLIST.lst」ファイルへ保存されます。



プレイリストへの追加/削除は以下のキーで操作します。

キー	説明
「*」	プレイリストへ追加します。コンテンツの先頭に再生順の番号が表示されます。
「/」	プレイリストから削除します。
「.」	コンテンツの先頭に表示されている番号をすべてクリアします。 「PLAYLIST.lst」へ保存されているプレイリストはクリアされません。
「0」	プレイリスト再生を開始します。「PLAYLIST.lst」へカーソルを合わせて「Enter」キーを押した場合と同じです。

プレイリストへ追加したコンテンツへカーソルを合わせてもう一度「*」キーを押すと、プレイリストが保存されます。



プレイリストをクリアするには「Internal Disk」の「PLAYLIST.lst」へカーソルを合わせて「/」キーを押します。PLAYLIST.lst ファイルの内容がクリアされます。

プレイリスト再生を開始するには、「PLAYLIST.lst」へカーソルを合わせて「Enter」キーを押すか「0」キーを押します。「Backspace」キーを押すとコンテンツ一覧画面へ戻ります。



プレイリストへ追加可能なコンテンツの数は99番までの制限があります。



プレイリストが保存されている場合、XJive 起動後、自動的にプレイリスト再生がはじまります。

5. 「Settings」の設定

メイン画面の「Settings」では、ネットワークインターフェイスの設定と Windows ネットワーク（SMB）の設定が可能です。「Settings」画面へ移動するにはパスワードの入力が必要です。

初期設定のパスワードは「**1234**」に設定されています。パスワードを入力し「Enter」キーを押してください。



初期パスワードを変更するには「Settings」画面にログインした状態で「***」を入力します。パスワード入力画面が表示されますので、パスワードを入力し「Enter」キーを押します。確認のため再入力画面が表示されますので、もう一度、パスワードを入力し「Enter」キーを押します。

パスワード認証に成功すると以下の画面が表示されます。

XJIVE 4KUHD

MTU	1500	6000	☒ SMB Enable	☐ SMB Disable
V4 address	192.168.100.1/24	WORKGROUP	WORKGROUP	
V6 address		HOST NAME	XJIVE	
V4 gateway		USER NAME	XJIVE	
DNS		PASSWORD	XJIVE	

IP address: 192.168.100.1/255.255.255.0 Disk: 8864/21557MByte (57%use)

HW MAC address: 80:EE:73:C4:5A:87 System Ver. 3.00.00

5.1. ネットワークの設定

設定項目は以下の通りです。初期状態では DHCP サーバから自動的に IP アドレスを取得します。

設定項目	説明
MTU	ネットワークインターフェ이스の MTU 値を選択します。 初期状態の 1500 のままで問題ありません。
V4 address	空白の場合は自動取得です。 IPv4 アドレスを手動で設定する場合に入力します。IPv4 アドレスとサブネットネットマスクを / で区切って入力してください。 例) 192.168.0.1/24 サブネットネットマスクはビット指定です。省略した場合は、自動的に 24 が指定されます。
V6 address	空白の場合は自動取得です。 IPv6 アドレスを手動で設定する場合に入力します。IPv6 アドレスとサブネットネットマスクを / で区切って入力してください。サブネットネットマスクはビット指定です。省略した場合は、自動的に 64 が指定されます。
V4 gateway	IPv4 ゲートウェイの IP アドレスを指定します。
DNS	DNS サーバの IP アドレスを指定します。

設定画面のテンキー操作は次の通りです

	説明
NumLock 無効時	・「↓」「←」「→」キーで項目選択および項目移動 ・「1500」「6000」「SMB Enable」「SMB Disable」にカーソルをあわせた状態で「BackSpace」キーを押すとメイン画面へ戻ります。設定が変更されている場合、変更を保存します。
NumLock 有効時	・数字キー、「.」キー、「/」キーで IPv4 アドレスを入力します ・「BackSpace」キーで入力を削除します ※IPv6 アドレスを入力する場合は、USB キーボードを接続する必要があります。

5.2. Windows ネットワークの設定

設定項目は以下の通りです。

設定項目	説明	初期値
WORKGROUP	Windows ネットワークのワークグループ名を指定します。	WORKGROUP
HOST NAME	NetBIOS 名を指定します。Windows ネットワークにはここで指定した名前が表示されます。	XJIVE
USER NAME	共有フォルダへアクセスするユーザ名を指定します。	XJIVE
PASSWORD	共有フォルダへアクセスするユーザのパスワードを指定します。	XJIVE



入力するには USB キーボードを接続する必要があります。

6. リモートコントロール機能

XJive を起動すると以下のメインメニューが表示されます。



リモートコントロール機能を有効に設定すると、XJive のメニュー画面が非表示になり、タブレットやパソコン等のウェブブラウザから XJive の画面を操作できるようになります。

リモートコントロール機能の ON/OFF は以下のファンクションキーで切り替えます。

キー	説明
[F3] キー	XJive メニューを表示し、リモートコントロール機能を無効にします。
[F4] キー	XJive メニューを非表示にし、リモートコントロール機能を有効にします。



リモートコントロール機能の設定は XJive 再起動後も保持されます。

[F4] キーを押して、リモートコントロール機能を有効後、ウェブブラウザで XJive の IP アドレスへアクセスします。XJive の IP アドレスはメイン画面下に表示されています。

[http://XJive の IP アドレス/](http://XJiveのIPアドレス/)

以下の認証画面が表示されます。



ユーザ名とパスワードを入力します。

ユーザ名	xjive ※ユーザ名は xjive 固定です。
パスワード	XJive の「Settings」画面へ移動するときと同じパスワードです。 初期状態では、 1234 に設定されています。

入力後、[ログイン] ボタンを押します。

以下のリモートコントロール画面が表示されます。



左部に XJive のメイン画面、右部に仮想テンキーが表示されます。

実際のテンキー操作と同じようにリモートから XJive の操作を行うことが可能です。

テンキーの操作は、XJive の操作説明書を参照してください。「Lock」ボタンと「Log」ボタンの機能は以下の通りです。

Lock	誤操作を防ぐためにテンキーをロック状態にすることができます。 [Lock] ボタンを押下すると、テンキーの操作が行えなくなります。ロック時は表示が赤色になります。
Log	XJive のログ情報が表示されます。ログ情報はブラウザの [リロード] ボタンで最新情報に更新できます。 ブラウザの [戻る] ボタンから XJive のメニュー画面に戻ることができます。



XJive のログは他のファイルを再生したタイミングでクリアされます。過去のログは保存されません。

7. HDR 設定 (OTH091)

7.1. HDR 設定概要

4K UHD XJive Player 10 (OTH091) モデルは、HEVC Main 10 で符号化された HDR コンテンツの HDMI 4:2:0 10bit 出力に対応したモデルです。HDR 伝送方式は、ARIB STD-B67 (HLG: Hybrid Log Gamma 方式) 及び SMPTE ST 2084 (PQ: Perceptual Quantizer 方式) の HDR10 に対応します。

従来の XJive でも HDR コンテンツを再生することは可能でしたが、接続された HDR 対応 4K テレビに対して HDR コンテンツの情報伝達を行うことができなかったため、HDR 対応テレビ側の設定を手動で有効にする必要がありました。

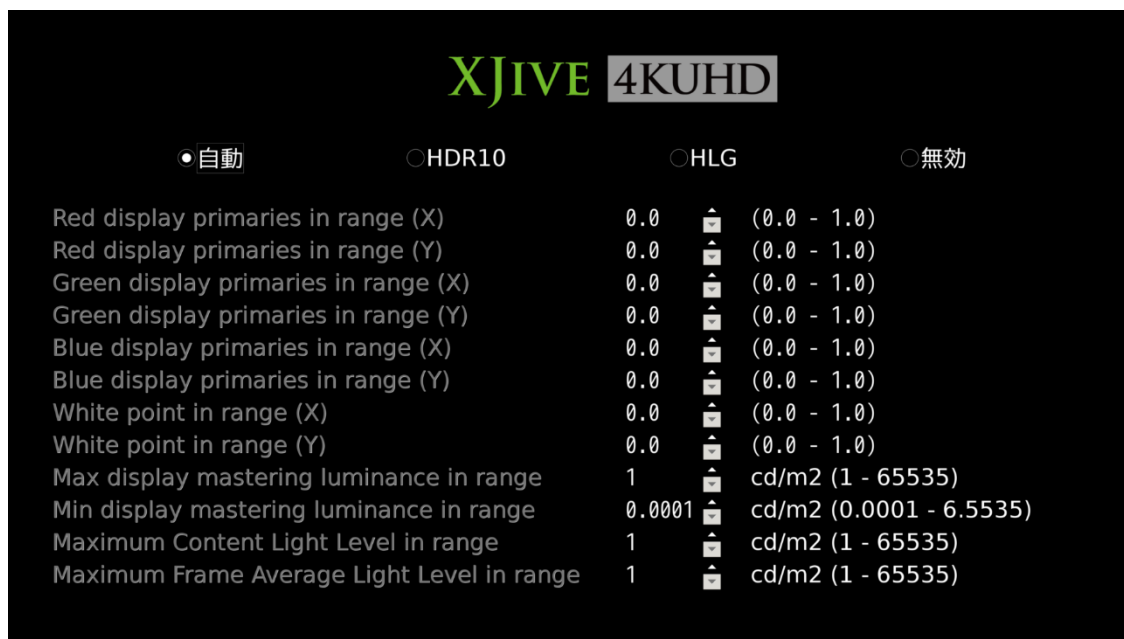
4K UHD XJive Player 10 (OTH091) は、HEVC コンテンツのカラートランスファ情報を参照することで、ARIB67 のときは HLG、ST2084 のときは HDR10 と判別し、HDR インフォフレーム情報を伝送しますので、XJive を HDR 対応テレビへ接続すれば自動的にコンテンツの HDR モードで再生が可能です。また、4K UHD XJive Player 10 (OTH091) モデルの HDMI 出力は、YUV 4:2:0 10bit に拡張されていますので、ビット深度が 8bit から 10bit になったことで、より滑らかな階調での映像表現が可能になっています。



ARIB STD-B67 (HLG: Hybrid Log Gamma 方式) は、イギリス国営放送 BBC と NHK が中心になって開発した HDR 伝送方式です。SMPTE ST 2084 (PQ: Perceptual Quantizer 方式) は次世代 BD「Ultra HD Blu-ray」に採用されている方式で収録方式の違いにより「HDR10」「Dolby Vision」「Philips」方式が存在します。

7.2. HDR 設定画面

標準では HEVC コンテンツのカラートランスファ情報を参照し、自動的に HDR 情報を伝送しますが、手動で設定を変更することも可能です。設定を行うには XJive のメイン画面でテンキーの「-」キーを押下します。以下の設定画面が表示されます。



初期状態では「自動」が選択されています。テンキーの「Num」を解除し、左右矢印キー「←」/「→」で項目を移動できます。

自動	コンテンツの HDR 情報および接続された 4KTV の HDR 対応情報を取得し、自動的に HDR インフォフレーム情報を送出します。
HDR10	強制的に HDR10 のインフォフレーム情報を送出します。
HLG	強制的に HLG のインフォフレーム情報を送出します。
無効	HDR インフォフレーム情報を送出しません。

変更した設定を保存するには「自動」「HDR10」「HLG」「無効」が選択された状態で「BS」キーを押します。変更が保存され、メイン画面へ戻ります。

「HDR10」を選択した場合は、HDR インフォフレームメタデータの設定が可能です。値を設定するには「Tab」キーで設定項目を移動し、上下矢印キー「↑」「↓」で変更します。

Red display primaries in range (X)	マスターディスプレイの色度点（赤） 設定範囲: 0.0 - 1.0
Red display primaries in range (Y)	
Green display primaries in range (X)	マスターディスプレイの色度点（緑） 設定範囲: 0.0 - 1.0
Green display primaries in range (Y)	
Blue display primaries in range (X)	マスターディスプレイの色度点（青） 設定範囲: 0.0 - 1.0
Blue display primaries in range (Y)	
White display primaries in range (X)	マスターディスプレイの色度点（白） 設定範囲: 0.0 - 1.0
White display primaries in range (Y)	

Max display mastering luminance in range	マスターディスプレイの最大輝度 設定範囲: 1 - 65535 cd/m2
Min display mastering luminance in range	マスターディスプレイの最小輝度 設定範囲: 0.0001 - 6.5535 cd/m2
Maximum Content Light Level in range	コンテンツの輝度レベル最大値 設定範囲: 1 - 65535 cd/m2
Maximum Frame Average Light Level in range	コンテンツのフレーム内平均輝度最大値 設定範囲: 1 - 65535 cd/m2

8. 設定ファイル (xjive.cfg)

XJive のデータ保存領域へ「xjive.cfg」という名前のテキストファイルを配置することによってプレーヤの動作を変更することができます。

「xjive.cfg」ファイルの設定例は以下のとおりです。

```
#
# sample xjive.cfg
#
# sort = DATAUP/DATADOWN/ALPHAUP/ALPHADOWN
# start = PAUSE/NONE
# end = PAUSE/NONE
# loop = yes/no

sort          ALPHAUP
start         NONE
end          NONE
loop         no
```

先頭が # の行はコメントとして処理されます。

■ sort の指定

ファイル一覧の表示方法を指定できます。

指定文字列	説明
ALPHAUP	ファイル名の昇順でソートし、一覧表示します。
ALPHADOWN	ファイル名の降順でソートし、一覧表示します。
DATAUP	ファイル日付の昇順（新しい日付から古い日付）でソートし、一覧表示します。
DATADOWN	ファイル日付の降順でソートし、一覧表示します。

■ start の指定

ファイル再生開始時の一時停止 ON/OFF を指定できます。

指定文字列	説明
PAUSE	ファイル再生開始時、最初のフレームで一時停止状態になります。 「Enter」キーを押すと再生がはじまります。
NONE	何もせずにファイル再生を開始します。

■ stop の指定

ファイル再生終了時の一時停止 ON/OFF を指定できます。

指定文字列	説明
PAUSE	ファイル再生終了時、最後のフレームで一時停止状態になります。 「Enter」キーを押すと終了します。
NONE	何もせずにファイル再生を終了します。

■ loop の指定

ファイル再生のループ ON/OFF を指定できます。

指定文字列	説明
yes	ループ再生します。
no	ファイルの再生が終わるとファイル選択画面へ戻ります。



ポーズ機能を ON にした場合、映像が黒の場合は何も表示されていないように見えますので注意してください。



ターボシステムズ株式会社